

## 第1期 朝日町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価概要

### 基本目標1

#### 1 全体 KPI

指標	指標値	実績値	達成度
若者(15歳～39歳)の社会増減数	△65人(H27～R1計)	△258人(H27～R1計)	25.2%

2 実施状況 実施済み：128、R2 実施予定：1、検討中：8 (※実施率：92.7%)

3 各 KPI 達成：12項目、未達成：17項目

4 全体評価 良好：2、概ね良好：8、やや不良：2、不良：0

#### 5 総括

全体 KPI については、実績値が目標値を大きく下回っている。目標値の△65人については、平成27年～令和2年までの5年間に若年層の社会減が大幅に抑制されることを前提としているが、実際は社会減に歯止めがかかっていない状況である。

一方で、全体評価としては、「良好」もしくは「概ね良好」が全体の83.3%となっており、各事業については一定の達成度となっている。

### 基本目標2

#### 1 全体 KPI

指標	指標値	実績値	達成度
出生者数	204人(H27～R1計)	165人(H27～R1計)	80.9%
合計特殊出生率	1.75(H31時点)	1.70(H30時点)	97.1%(H30時点)
婚姻数	150組(H27～H31計)	117組(H27～R1計)	78.0%

2 実施状況 実施済み：39、R2 実施予定：2、検討中：0 (※実施率：95.1%)

3 各 KPI 達成：0項目、未達成：8項目

4 全体評価 良好：0、概ね良好：3、やや不良：2、不良：1

#### 5 総括

全体 KPI の達成度はいずれも100%を下回っており、各 KPI についても8項目中達成が0項目となっており、達成に向けた一層の取組みが必要である。

一方で、H30の合計特殊出生率は山形県1.48に対して、朝日町は1.70と高い値になっており、各事業の成果が表れてきている部分もある。

### 基本目標3

#### 1 全体 KPI

指標	指標値	実績値	達成度
要介護認定を受けていない65歳以上の人の割合	77%(H31時点)	80.7%(R1時点)	104.8%

2 実施状況 実施済み：22、R2 実施予定：0、検討中：4 (※実施率：84.6%)

3 各 KPI 達成：6項目、未達成：1項目

4 全体評価 良好：4、概ね良好：0、やや不良：1、不良：0

#### 5 総括

全体 KPI については、実績値が指標値を上回り、達成度は104.8%となっている。また、各 KPI においても、7項目中6項目が達成している。施策の実施率については、他の基本目標と比較して低いいため、検討中の施策の積極的な実施が求められる。

## 全体総括

基本目標1の指標値と実績値が大きく乖離してしまった。原因としては、KPIを定める際に指標にした国立社会保障・人口問題研究所の「朝日町の15歳～39歳までの社会増減数が2015年からの5年間で65人減になる」という推計(2013年)を、そのまま指標値として定めたという経緯がある。当該推計では、平成27年から平成32年までの5年間に人口移動がそれまでの期間と比較して大きく抑制されるという仮定のもとに数値を算出しているが、実際には全国的に人口移動が縮小せず、平成27年以前と同様の傾向で推移したことが指標値と目標値が乖離した一つの原因になったと思われる。

この目標値に少しでも近づけていくために、今後町として取り組んでいくべき方向としては、実際に町民の方が必要としていることを、町民や民間と協働しながら作っていくことだと考えている。

今回実施した町民アンケートにおいて「朝日町に住みたい理由」として、若者の回答で多かったものが「自然が豊かでゆったりした気持ちで生活が送れるから」だった。若者が感じる朝日町の長所が「自然の豊かさ」であることが伺える。

一方で、「もっと住みたいと思える町になるために必要なものは？」の回答として、若者の回答で多かったものが「もっと交通の不便さをなくすこと」と「買い物や飲食ができたり、遊べる場所がもっと町内にできること」だった。

第2期総合戦略では、子どもやお年寄りなどの交通弱者の方が気兼ねなく行きたい場所へ行けるように、デマンドタクシー・山形市直行バス・寒河江市直行バスの運行やバス定期券の購入への支援を継続しながら、自動運転の導入の可能性を民間と協働しながら探るなど多様な観点から検討を進めていく。また、朝日町の長所である自然の豊かさをいつまでも守っていくために「郷土を愛し、きれいな町をつくる。」をスローガンに町民・地域・事業者・行政がともに協力・連携して環境問題に取り組んでいく。